

「子どもを通じて知る新しい世界」

ニッポン高度紙工業株式会社
管理部人事課 課長代理 松岡典子



令和 5 年度から労務管理者協議会に参加させていただくことになりました、ニッポン高度紙工業株式会社の松岡と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私が所属しているニッポン高度紙工業株式会社は、1941 年に高知県の伝統的工芸品である土佐和紙を加工し、“濡れても破れない紙”を開発したことからはじまりました。応用開発を重ね、現在は、アルミ電解コンデンサや各種電池に使用される“セパレータ”と呼ばれる製品を世界のお客様に販売しています。アルミ電解コンデンサとは、エレクトロニクス製品の重要な部品のひとつであり、電気を利用する機器には必ずと言っていいほど使用されています。私たちの身の回りのものでは、テレビやパソコン、自動車にいたるまで、さまざまな製品に内蔵されています。

現在、プラスチック代替材料として紙への注目が高まっています。当社は、セパレータ事業で培ったコア技術を用いて、持続可能な社会を実現するために、新事業への取り組みも行っています。

さて、ここからは、私（と家族）のことについてお話しさせていただきます。我が家では、ここ数年、息子が所属する少年サッカーの観戦に夫婦で“はまって”います。自分自身にスポーツの経験がなかったこともあり、「子どもには何かスポーツをしてほしい」との勝手な思いから、息子を少年サッカーに誘い込んだのが小学 2 年生のこと。最初はやらされ感満載だっ

た息子も、出来ることが増えたり、チームが勝利する回数が増えたりしたことで、面白くなってきたようです。（それでも、“はまっている”素振りは見せないクールな息子…）。この春、小学 6 年生になり、優勝を目指して大会に参加しています。

試合の前後に、選手同士で次の試合の戦略を話し合う様子を見てみると、互いの行動をはっきりと指摘し、「どうしてほしいのか」を言い合っています。目標を目指して取り組む子どもたちの力はすごいなど感動します。そして、保護者のつながりが観戦の楽しさをさらに大きくしてくれます。どの選手が活躍しても、自分の子どものように喜んでくれる方ばかり。試合を一緒に観戦して、盛り上がっています。スポーツはこんなにも心を熱くし、感情を共有できるものなのだということを、この歳になって初めて知り、二度目の青春を味わうような気持ちになっています。

また、中学 2 年生になる娘は、推し活に“はまって”います。皆さま、「推し活は経済をまわす」ということをご存じでしょうか？私は娘から聞いて知りました。微力ではありますが、私も経済をまわす手伝い（娘の推し活グッズの購入）をしています。これまで、自分が選んできた道にはなかったものを、子どもを通じて知り、視野が広がっていくことを心から楽しんでいきます。

本会にて皆さまからもご指導をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。